

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	オープンビルディング小委員会	主 査 名：南 一 誠 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会	建築計画委員会	委員長名：布野修司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンビルディングに関する研究課題の抽出・明確化 ・オープンビルディングに関する研究資料・情報の整理、体系化 ・インフィルシステムの開発、建築計画における「用途」の概念に関する研究 ・海外研究者 (CIB W104) との研究交流 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 (現在の委員のうち 3 名は公募委員) 主査：南一誠 (芝浦工業大学) 幹事：小畑晴治 (日本開発構想研究所) 石塚克彦 (東日本住宅評価センター) 委員：安達好和 (積水化学工業) 大野隆司 (東京工芸大学) 忍裕司 (竹中工務店) 門脇耕三 (首都大学東京) 鎌田一夫 (東京ガス) 佐藤考一 (建築・環境ワークス) 澤田誠二 (明治大学) 近角真一 (集工舎建築都市デザイン研究所) 辻沢年彦 (三梓設計事務所) 深尾精一 (首都大学東京) 藤本秀一 (建築研究所) 松村秀一 (東京大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	建築計画における用途研究 WG：建築計画における「用途」の研究 インフィルシステム開発 WG：インフィルシステムの開発、建築計画における「用途」の概念に関する研究 教育・普及 (国際交流) WG：オープンビルディングに関する教育に関する研究	
2006 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s13/

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 「フレキシブルで解体容易な工業化建築のデザイン」 (リチャード・ロジャーモントリオール大学教授講演会) 参加者数 30 名 2. 「ジャン・ブルーベの軌跡」 (ペーター・ズルツァーシュツツガルト大学講演会) 参加者数 100 名
大会研究集会	
対外的意見表明	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. オープンビルディングに関する公開研究会の開催 (3 回、公開形式) 2006 年 9 月 28 日；南一誠 (芝浦工業大学)「KEP 方式による可変型集合住宅の経年変化」、2007 年 1 月 15 日；松村秀一 (東京大学)「私とオープンビルディング - KEP、CHS、NHS、中高層ハウジング、ハウスジャパン、そして団地再生 -」、2007 年 2 月 5 日；藤本秀一 (独立行政法人 建築研究所)「神奈川県住宅供給公社における賃貸住宅の改修」 2. 見学会の開催 (3 回、構法計画系委員会および学会会員の公開見学会) 2006 年 9 月 28 日；求道学舎再生工事見学会。10 月 5 日；UR 都市再生機構洋光台団地リニューアル工事見学会、積水化学 NEXT・INFILL (民間分譲集合住宅改修工事) 見学会。12 月 16 日；積水ハウス、国立サステイナブルデザインハウスの見学会 3. 2006 年 7 月 3-5 日；CIB W104 Adaptables2006 (アイントホーヘン工科大学) で論文発表。8 月 3 日；日韓建築セミナー「長寿命共同住宅」で講演
委員会活動の問題点・課題	1. 活動成果を印刷物として取りまとめ公開する (2007 年度に取り組むべき課題) 2. 委員会ホームページの更なる充実 (これまでに約 300 件のアクセス)